

松本茂雄

# 「私が体験した 戦争と抑留」

勤労働員、中国大陸での戦争、そしてシベリアでの抑留を体験された  
校友の松本茂雄氏に貴重な体験をお話しいただきます。  
お誘いあわせの上、ぜひ、ご参加ください。

日時 |

2017年5月22日(月)  
14時45分～16時15分

会場 |

早稲田大学8号館  
B101教室

入場無料・予約不要  
どなたでもご参加いただけます。

まつもと しげお  
松本 茂雄氏 略歴

1925 (大正 14) 年	福島県福島市生まれ。
1943 (昭和 18) 年	県立福島中学卒業。第二早稲田高等学院入学。
1944 (昭和 19) 年	勤労働員により印旛飛行場建設に従事。
1945 (昭和 20) 年	2月 陸軍入隊。「満州」虎林の迫撃第13大隊に配属される。 8月9日ソ連侵攻。 9月 ソ連軍の捕虜となり、以後、約3年間シベリアに抑留される。
1946 (昭和 21) 年	9月 戦死公報が家族に届く。 12月 シベリアより捕虜ハガキが家族に届く。
1947 (昭和 22) 年	9月 戦死公報取り消し。
1948 (昭和 23) 年	7月 帰国。早稲田大学政治経済学部にて復学。
1952 (昭和 27) 年	3月 卒業。
1956 年以降	東京トヨタ、リクルートに勤務。

〔著書〕『火焼山—— 極限状況における国家と人間の生き証人』(文藝書房、1999年)